

報道関係者各位

2013年12月29日17時00分
株式会社マルハニチロホールディングス
株式会社アクリフーズ

「株式会社アクリフーズ群馬工場生産品における農薬検出について」

1. 事実内容

このたび、株式会社マルハニチロホールディングスの連結子会社である株式会社アクリフーズの群馬工場（群馬県邑楽郡大泉町吉田 1201）が生産した冷凍食品を召し上がられたお客様から臭気があるとのこと指摘があり、検査した結果、商品の一部から本来含まれていないマラチオン（注）と呼ばれる農薬が検出されました。現在原因について調査中ですが、万全を期するために、同一工場で生産している全商品を、賞味期限にかかわらず自主回収を実施することにいたしました。

2. 経緯

【11月13日（水）】

群馬工場生産のミックスピザにて、石油・機械油のような臭いがするとのこと申し出を初めて受電する。（お客様相談室）

【11月15日（金）～12月3日（火）】

同様の異臭お申し出が、ピザ6件、フライ類3件、合計9件となる。賞味期限、発生地域に統一性はなし。

文献等の知見から、シンナー臭が発生する酵母由来の酢酸エチル産生の可能性を考え調査を進める。

【12月4日（水）】

臭気成分の特定を目的として、外部検査機関に臭気分析定性検査を依頼する。

*分析依頼サンプル

①ミックスピザ（2014.10.28/B1）、②チキンナゲット（2014.10.4/A2）

【12月13日（金）】

定性分析の結果、①②サンプルとも、「酢酸エチル、エチルベンゼン、キシレン、他3物質」が検出された。当該検出物質は、塗料・農薬等の溶媒に使用されている事を確認した。

【12月16日（月）～27日（金）】

検出物質の定量分析の追加依頼を実施。（依頼サンプル（誤）①→（正）③みなさまのお墨付きミックスピザ2枚入り）

原因調査として、塗料などの付着可能性が考えられた為、工場内での付着可能性調査を実施した。

【（誤）12月17日（火）】

農薬付着の可能性否定を目的として、追加の残留農薬検査（150項目）の分析を依頼。

*依頼サンプルは①

【12月25日（水）→（正）12月26日（木）】

定量分析の結果から、酢酸エチル検出なし・エチルベンゼン（6ppm）、キシレン（3ppm）が検出された。

*12月29日（日）現在、ピザ11件、フライ類8件、コロッケ1件、合計20件の異臭お申し出となる。返却サンプルは臭気分析を依頼中。

【12月27日（金）】

サンプル①の残留農薬検査の結果から、「マラチオン（2,200ppm）」が検出された。残留農薬ポジティブリスト制度の一律基準（0.01ppm）を上回る数値である事が確認された。分析機関に保管しているお申し出サンプル11検体の追加残留農薬検査（リン系57項目）を緊急依頼。

工場内の薬剤を全て調査した結果、マラチオンを含むものはなし。

【12月28日（土）】18時30分

追加残留農薬検査の結果連絡を受ける。お申し出品11検体中、4検体（ピザ1検体、フライ類2検体、コロッケ1検体）よりマラチオンが検出される。

（注）マラチオン（Marathion）

マラチオンは、有機リン系の殺虫剤、殺ダニ剤の一種であり、別名マラソンとも称される。特異臭を有する黄～褐色の液体で、水にはほとんど溶けず、酸・アルカリにより加水分解される。光には安定であるが、加熱により分解される。

国内では、1953年に初めて農薬登録され、アザミウマ類、アブラムシ類、ハダニ類等の広範囲の害虫に効果があるため、現在、十数社から販売されている。米国では、ポストハーベスト農薬として、船倉、倉庫等に貯蔵する小麦等の穀類に直接散布することが認められている。作用機作は、コリンエステラーゼ活性の阻害によるもので、選択性及び速効性を有し、浸透移行性はあるが残効性は低く、また低毒性であることが知られ

ている。

急性毒性は低く、経口投与によるげっ歯類でのLD50は様々な報告があり、値も1,000-10,000mg/kg 体重と幅が広い。これは、マラチオンに含まれる不純物の毒性の影響によるものといわれている。一方、水性生物及びミツバチに対しては毒性が強い。経口接種した場合、直ちに吸収、代謝され、尿または糞便中に排出される。発ガン性、催奇形性及び遺伝毒性はない。ヒトのADI（許容一日摂取量）は0.02 mg/kg 体重/日である。

なお、現在、食品安全委員会が、農薬の飼料中の残留基準を設定するために食品健康影響を評価中である。

出典：独立行政法人 農林水産消費安全技術センター（FAMIC）

<http://www.famic.go.jp/ffis/feed/info/profile/malathion.pdf>

3. 原因

鋭意調査中ですが、現時点で原因が特定できておりません。

4. 対策

原因究明に全力で取り組んでおりますが、現時点で解明できておりません。そのため、群馬工場の生産を休止し、出荷を直ちに停止すると共に、商品を自主回収いたします。

原因が判明次第、対応策と併せ発表させていただきます。

5. 見解

お客様ならびに関係各位には多大なご迷惑およびご心配をおかけすることになり、心よりお詫び申し上げます。

また、原因の究明に全力をあげておりますが、現時点で未だ解明に至っておりませんことを深くお詫び申し上げます。

関係各所からのご指導を仰ぎ、早急に原因の解明と対応策、ならびに再発防止策を発表させていただき所存でございますので、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

以上

お問い合わせ先

株式会社マルハニチロホールディングス

広報IR部

TEL:03-6833-0826 FAX:03-6833-0506

株式会社アクリフーズ

広報室 Tel 03-6833-4386 Fax 03-6833-0593